

## マネージメント情報

### ※ パスチャライザー

大規模農場ではこの 1~2 年で初乳・移行乳・廃棄乳をパスチャライザーで殺菌後に子牛に給与する方が増えてきています。

目的は初乳中の免疫グロブリン、ビタミンなどの成分に影響を与えずに、ヨーネ菌・サルモネラ菌・牛白血病ウイルス・大腸菌を殺菌してから初乳を給与することです。この他、乳房炎や抗生剤使用による廃棄乳の再利用ということでも利用されています。

冷却機能・洗浄機能があるものもあり、手作業での温度管理よりも安心して他の作業も効率的にできます。

また、殺菌後の初乳・生乳の給与になりますので、下痢の低減、コストの削減、初生の増体も期待でき販売価格も高くなっているようです。

今回は平均的な規模の農場でも積極的に使えるサイズのパスチャライザーを紹介します。

大規模農場で使用されているのは 100L 以上のサイズで価格も 100 万円以上しますが、10-20L サイズのものは幅がありますが 20 弱-50 万円程で購入できます。

数社で製造販売していますので、農場の規模や状況、好みに合わせて選択する事ができると思います。

1 年程度で十分に回収可能で費用対効果の高い器機ではないでしょうか。



### ※ 長靴(靴底)の消毒

宮崎県の口蹄疫発生で牛舎入り口に消毒槽を置く農場がずいぶんと増えました。

厚床の坂井農場ではザブザブと長靴を消毒するだけでなく、靴底の汚れの有無を確認できるように、4t トラックのバックミラー(大きくて見やすい、廃品利用、可動式)を消毒槽の横に設置してありますので紹介します。

もっとも汚れを持ち込む可能性のある靴底の汚れの確認はとても重要です。



- .....
- ・六月中に1番草を終えてスラリー散布や肥料撒きを始めた方もいれば、コントラの順番待ちで気をもんでいる方も……。  
春先からの天候の心配も何処へやらという感じで、今年は収量も十分ありそうです。  
今年の天気予報ははずれる事が多すぎますね。  
豊作の予感がします。
  - ・会社のHPにもアップされていますが、佐竹獣医師が6/27におこなわれた初挑戦のサロマ湖100kmウルトラマラソンを見事完走しました。  
最高気温32℃、完走率49.9%という厳しい条件の中での快挙でした。  
本人曰く、80kmから神風が吹いたとか…。
  - ・先日、またまた西越さんから連絡があり医大へ編入してから全てが順風満帆?だった彼にも落とし穴があったらしく、部活(バドミントン)の練習中にアキレス腱を切断!!!してしまい予定していた、北海道マラソン、旭川での自転車レースともに出場できなくなったとか……。半年程おとなしくしているとの事でした。
  - ・宮崎県の間蹄疫は終息に向かっている様子です。7/5の292例目が最後の疑似患畜確認で、その後の新しい確認も無く、移動制限、搬出制限解除地域が増えてきています。  
民間の種雄牛の殺処分について少々ゴタゴタしましたが(賛否両論)、それでも間違いなくゴールは見えてきました。